

# れんけい



令和4年11月11日  
岡山県立岡山聾学校  
特別支援教育  
コーディネーター

秋になり過ごしやすくなりました。秋の味覚やスポーツ他、家族の楽しいイベントで、日頃の疲れやストレスの解消ができるといいですね。温かい食べ物や温かいお風呂で体をリラックスさせるのもお勧めです。そして、何より「温かく見守り受け止めてくれる人がいること」が一番ですね。私たちも子どもたちにとってそんな存在でありたいと思っています。

さて、本校は岡山県の聴覚障害のあるお子さんやその支援者の方々にとっても、そんな存在となるべく、今年度も様々な支援を行っています。今号ではそのうちのいくつかをご紹介します。

## 通級指導教室



対象：小学校の通常学級に通っている聴覚に障害のある子ども

場所：岡山（岡山聾学校内教室）と倉敷（倉敷市立老松小学校内サテライト教室）の2カ所。

週に1回、70分の指導・支援を受けに近隣の小学校から通っています。

聴覚に障害のある子どもたちが、困り感や不安を解消し、生き生きと学校生活を送ることができるよう、個々の実態や課題に応じた指導をしています。また、保護者の方々とも、随時教育相談を行っています。

☆通級指導教室担当（小：橘、青木）☆

通級指導教室担当者からの

### 「イヤホンやヘッドホン」に関するちょっと気になるお話



最近、学校での一人一台端末の使用に伴って、「イヤホンやヘッドホン」に関する気になるお話を聞くようになりました。授業で、各自で音声を聞きながらの取り組みがありますが、その際の補聴器を装着している子どもたちの対応についてです。

補聴器を外してイヤホンやヘッドホンを使っている事があるようです。子どもたちから「ヘッドホンで大きな音で聞いたら、補聴器なしで聞こえた!」と言われることがあるのですが、補聴器は各自の聴力・聞こえ方に合わせて、適切な音量、音質で音が入るのに対し、イヤホンやヘッドホンでは単に音量が上がるのみです。場合によっては過度に大きな音が入り、耳（聴力）への大きな負担になる可能性があります。これは、学校だけでなく家庭でゲーム等をするときも同様です。

各自の聴力・聞こえ方に合わせてフィッティング（調整）がされている補聴器とは異なるものだとすることを理解していただきたいと思います。

<具体的にできること>

- ・補聴器を使用する児童生徒は直接タブレット等から音を聞き、他の児童生徒はイヤホン等を使用する。
- ・周囲の友だちに影響が少なくなるように、少し距離をあげ、タブレット等から直接音を聞く。
- ・補聴援助システムの送信機をタブレット等の前に置く。 など

# 乳幼児教育相談

対象：聴覚に障害のある乳幼児とその保護者

実施日：水曜日以外の午前中

場所：岡山聾学校



先生と一緒に自由に遊んだり、出席シール貼りや名前呼びなどの活動をしたりします。また、親子遊びも取り入れ、親子での触れ合い、伝えあう楽しい時間となるようにしています。慣れてくると、ここが楽しい場所と分かって笑顔で通ってくれるのがうれしいです。

☆担当☆（幼：岡田 小：宮崎あ）

# 就学前教育相談

対象：就学前の教育機関や保育・療育機関に通うお子さんとその保護者

実施日：月1回、月曜日の午後に約1時間半程度

場所：岡山聾学校



言葉遊びや音遊びなどを通して、お子さんのコミュニケーションに役立つ情報を共有したり、相談を受けたりしています。お子さんにとって、楽しく活動でき、保護者の方もほっとできる場所でありたいと思っています。

☆担当☆（幼：宮尾）

# 県中北部相談室



対象：高校生までの子どもとその保護者、及び支援する方々

場所：岡山県総合教育センター（吉備中央町）…毎月第2水曜日

すこやか・こどもセンター（津山市）…毎月第4水曜日



本校の担当者が訪問し、聞こえやことば、補聴器や人工内耳、その子に合った支援など、様々な相談を承ります。

☆担当☆（小：宮崎あ）

どの教室・相談でも、子どもや保護者の皆さんが安心して、気軽に相談ができる場でありたいと思っています。「支援を受けたい」と思われている聴覚障害のお子さんや保護者の方が周りにおられましたら、聾学校のことをお伝えください。よろしくお願ひします。